

風の谷 びゅう **VIEW**

社会福祉法人 風の谷
相模原市中央区田名7236-3
発行責任者 政野 光廣
042-760-1033
<http://www.kanagawa-id.org/yamabiko/>
e-mail: ykoubou@pastel.ocn.ne.jp

あけまして
おめでとうございます!
2018年も風の谷を
よろしくおねがいします!



作:田中俊一さん

【2018年 新春号】

◇巻頭文	P 2	◇自閉症支援センターより	P 3
◇特集「自立課題について」	P 4・5	◇自閉症について	P 6
◇ヘルパー・ナウシカ便り	P 7	◇後援会のページ	P 8

新年のご挨拶

理事長 政野 光廣

新年あけましておめでとうございます。

平成30年の新春を迎え、皆さまには新たな気持ちでご活躍のことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は社会福祉法人風の谷に多大なるご理解とご支援を賜り心よりお礼申し上げます。

さて、平成30年は法人にとりまして、新たなスタートの年になります。その一つが法人設立20周年の節目に当たることです。20年前、私たち親は、我が子の生活の拠点となる場所を作ろうと相模原市自閉症児・者親の会を起点として施設設立委員会を立ち上げていました。

仲間作り、資金作り、設立準備と奔走していました。当時の自閉症者を取りまく施設状況は自閉症者にとって、障害の特性に合わせた配慮など望むべくも無く、施設では、何とか一日の間、静かに過ごしてくれば！と言うのが実態だったと思います。何とか専門性を持った支援員のサポートのもと、彼ら一人ひとりに配慮し、それぞれの個性を發揮しながら生き生きと地域生活をおくる事が出来る場を確保してあげたい、それこそが真に豊かな社会になるのでは！そのような思いとして立ち上げたのが社会福祉法人「風の谷」と「やまびこ工房」でした。今、20年を迎えるに当たり改めて、地域の方々、行政、そして支援して頂いた皆様に感謝、お礼申し上げます。

この間、グループホーム（ナウシカ）、短期入所施設（赤い屋根）、そして第二やまびこ工房の建設などを進め、事業としても専門性を活かした、相模原自閉症支援センター、自閉症支援相談室などを立ち上げてまいりました。これらの事業については一層の支援充実を図ってまいります。具体的には何よりも支援職員の更なる確保と育成に傾注したいと考えております。この20年で蓄積した力を次の支援者の育成と支援内容の充実に活かし、事業運営、法人運営に結びつけてまいります。私が今までの関わりの中で大切にすべきと思うことは利用者一人ひとりに対して、共に生きる人としての尊厳を大切にすること、そして各人の個性に合わせた支援サポートを追求することにつきます。ささやかですが設立20周年の祝いの会を7月に開催する予定です。

本年度はもう一つ大きな事業が予定されています。9月に開所を予定しています、グループホーム（仮称グループホーム下溝）のオープンです。ホームの場所は南区下溝です。2階建てで、10名の利用者を想定しています。法人としては「ナウシカ」の次に開所する二番目の施設です。ご存じの様に、グループホームは最初の立ち上げ期間の運営が重要で、何とか上手に運営を軌道に乗せ、安定した生活の場となるように、法人としても全力で支援してまいります。グループホームは親なきあとの生活の選択肢の一つです。また、高齢となった親たちの負担の軽減と利用者の安定した生活の場の確保にも繋がる事業です。

平成30年は法人にとりまして、新たなスタートの年であります。風の谷の運営は原点である「利用者の一人々に寄り添ったきめ細かな支援」の充実を推進すると共に、職員と共に各利用者の支援を確認し合い、利用者満足度の高い法人、施設運営を目指していきます。

今年もやります！地域交流バザー！！

日時：平成30年6月3日 日曜日（予定）

会場：やまびこ工房

皆さまのご来場お待ちしております！



それぞれ ～相模原自閉症支援センターより～

昨年の10月末に自閉症児・者を支援するGHA AUTISM SUPPORTS（アメリカ ノースカロライナ州アルバマール）を主とした視察研修に参加した。風の谷周辺の支援と引き比べながら想像したことを記したい。

昼夜逆転してしまった自閉症者は、日中活動に参加することができなくて、自宅で過ごすことが多い。服薬調整をしているが中々夜、眠ることができない。事業所の受け入れは9:00～16:00である。

あるいは、夜、眠ることが出来ないので夜間に通所し、活動している。事業所の受け入れは個々のライフスタイルに合わせている。

自傷や他害が激しくなり、入所施設に入った。日中はドライブに行ったり、作業に取り組んだり、体育館で運動を行っている。医師の診察や看護師のケアも受けられる。不審者の侵入や無断外出がないように周囲はフェンスで囲まれている。安全に過ごすことを重視した支援である。

あるいは、農場の中にあるグループホームに入居した。日中は馬をグルーミングしたり、乗馬したり、農作業を行ったり、グループホームでテレビや動画を見たり、お菓子作りをして過ごしている。癒しを重視した支援である。

グループホームでの生活で、食事代、光熱費、家賃等の負担はない。負担しなくてはならないのは、衣服の購入費と行事に掛かる費用のみである。ただし、自由に使えるお金として支給されるのは、月に4,000円である。

あるいは、障害年金と生活保護により生活費が支給されている。お金の使い方は成年後見人を介して決めている。

末期癌の自閉症者が入院を余儀なくされ、放射線等最善の治療を受けたが半年後に亡くなった。

あるいは、医療と連携の取れるグループホームに入居し、寝たい時に寝て、活動したい時に活動でき、移動も車椅子やベットのまま移動ができる。バーチャル水族館があり、動物と触れ合うこともでき、家族といつでも会える。しかしながら1ヶ月後に亡くなった。

プールに行く。電車は交通の便として使えず、バスは本数が少ない。職員の運転する車でプールに行った。どこに行くにも車が必要である。

あるいは、ヘルパーが自宅まで迎えに来て、最寄りのバス停まで歩き、バス、電車を乗り継いで、プールに行った。大概の場所は、公共交通機関で行くことができる。

公園に行く。4名の自閉症者と支援者が歩いて、国道を渡り、公園に行き、ブランコで遊んだ。

あるいは、国道は6車線あり、車は時速80キロくらいで走っている。国道を歩いて渡るのは危険なため、車で公園に行った。

必要に思いつつ、できないと諦めていたことをノースカロライナでは取り組んでいたこともあれば、日本（相模原）ならではの資源もある。一方、自閉症者の特性から生じる行動は日本もアメリカも変わらない。Teacch プログラムが日本に根付いてきたこともあるが、支援へのアプローチの仕方も同じであった。文化という違いを育む社会性に障害があるのだから、当然といえば当然だけど、自閉症者は一緒だなあと実感を持って感じられた。それが何よりも貴重な体験であった。（薬師丸）

自立課題ってなに??

自立課題とは、ひとりで取り組み、ひとりで完成できるように工夫された課題のことを言います。自立課題には、それぞれにたくさんのテーマがあり、取り組んでもらう方一人ひとりに合った課題を検討しています。自立課題への取り組みを通して、たくさんの秘められた才能や能力を見出し、それを社会に活かしていくことがテーマのひとつでもあります。課題を作成・提供するにあたり、秘められた力を見出すためにも、まずは本人が興味関心のあるもの・好きなものから発展させるようにしています。また、日頃から自立課題に取り組んでもらうことで、毎日少しずつでも達成感を感じてもらおうということも、自立課題の大切な役割のひとつだと思います。

日 常生活に活かすというテーマに着目した課題です。
普段から身近にあるものを課題として取り入れることで、生活力の向上（スキルアップ）につなげます。



▲PETキャップしめ
簡単そうに見えますが、意外と力加減や指先の使い方がポイントになります。

▼歯ブラシキャップ付け
宿泊時など意外と使用することが多いキャップ付き歯ブラシ。手順を写真で提示しています。

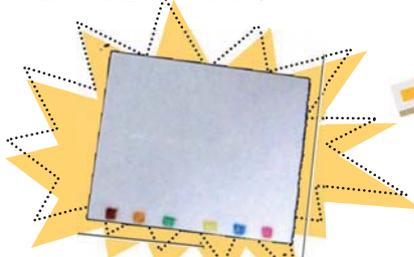


▲ハンカチたたみ
お家で失くしてしまいがちなものナンバー1のコレ。畳んで整理しておけば失くさない。



フォークを見本通りに袋に入れる課題が…

受注・自主製作品へ向けてのステップアップとして、一人ひとりの「できること」が上手に発揮されるような治具や課題を提供することで、多くの利用者が受注作業や自主製作品に関わることができています。



色の見本を示した手作りの治具を用いることで…



色鉛筆を指定された順に箱詰めする受注作業に繋がりました!

提示の仕方ひとつで…

情報を整理する事が難しく、完成させることが出来ませんでした。



お団子を色分け(視覚的明瞭化)することで、情報の整理がしやすいよう改善しました。ただ、見本の提示方法に問題があるのか、まだ完成させることができません



本人の視線の運び方の特性上、見本は寝かせるより、立たせた方がわかりやすいとご家族からアドバイスを受け、見本を立てて大きくしました。



同じ課題でも、やり方は様々です。その人に合わせて提示方法は変わっていきます。



できないということは、必ずしもできないというわけではない。

例えば、高い木になっているリンゴをとろうとする時、みなさんならどうしますか？ある人はハシゴを使うかもしれません。ところが、高いところが苦手な人ならハシゴは使えません。では、近くに棒があったら…？そう、方法はひとつではありません。その人に合った方法を用いれば、リンゴだってとることができるのです。

「できなかった」のは、本人からしてみたらわかりづらいものを私たちが一方的に「わかりやすい」と思って提示しているからなのだと、この課題を作成していく中で気づくことができました。それはつまり、私たちの「当たり前」は「当たり前ではない」ということです。また、課題が完成させられなかった時に「できなかった」と思うのではなく、「どうしたらできるのか」という視点を持ち、「本人の持つ力を最大限に活かすには」を追究することの大切さを感じました。

第二やまびこ工房 八木・込宮・佐野

自閉症について

～相談支援専門員の立場から、あらためてやまびこ工房の役割とは～

「やまびこ工房は、最後に行くところ。」

以前、学齢期の自閉症の方のガイヘルをしていた時にその親御さんが言われた言葉です。その方が養護学校の卒業を控えていくつかの施設へ実習に行っている時期でした。より将来の選択肢が広がるような通所場所を選びたい、という親御さんの気持ちが冒頭の一言には透けて見える気がしました。やまびこ工房は「行動障害のある自閉症者が落ち着くために来る場所」であって、ありきたりな言い方ですが、将来仕事をして自分で稼いだお金でグループホームの家賃を払い親亡き後も地域で楽しみを持って暮らしていく、というようなイメージを抱けない場所だったのかもしれませんが、実際、その方はやまびこ工房を見学され、当時の自分から見ても自閉度が強かったので利用を勧めましたが、卒業後の進路として結局自宅近くの作業所を選ばれました。

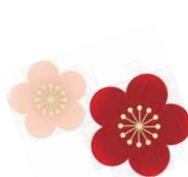
相談支援専門員になって自立支援協議会や研修の場で他事業所の事例を検討する機会が増えました。やまびこ工房以外の事業所で働いたことがない私にとって、想像もつかないようなケースに触れ、自分の視野の狭さや知識不足を実感することが少なくありません。しかし一方で、自閉症や発達障害のケースに関しては、他事業所の方々が障害についての知識をあまり持たれていないことで、とても苦労されていることに驚きました。同時にこのことは、どの障害にも当てはまることで、たとえば視覚障害者への支援、重症心身障害者への支援、精神障害者への支援などそれぞれに専門的な知識や技術が求められ、それぞれの支援者が関わっている障害以外の分野にはあまり詳しくないことが殆どなのだと思います。私自身も他障害に関する知識不足を感じつつ、やまびこ工房の自閉症支援の専門性を自覚したことで、次の二つのことに思い至りました。

- ① 専門的になりすぎている。たとえばやまびこ工房の利用者は限られた事業所にしか任せられてきていない。(津久井やまゆり園の事件以降、特に)
- ② 他分野の障害についてある程度の知識を持ち、どの事業所がどの障害について支援をしているかを知り、互いに気軽に相談できる関係があるとよい。

「専門的であること」は地域の中で役割を持つことで、他の事業所が困った時に役に立てるということ。「他の障害の支援方法を知らないこと」は他の事業所の専門性を知っていくことで、選択のアドバイスや他の事業所の専門性に頼ることでカバーします。専門的であることと利用者を抱え込みすぎることとを分けて考え、専門性が生かされる支援の部分と頼るべき部分を見定める目を養っていきたいと考えます。

冒頭のエピソードでは、本人の特性を考慮した広がりのある将来の見通しを示せなかった自分がいました。ガイヘルヘルパーとしてだけではない現在の立場からなら、また違うことが言えたのではないかと思います。相談支援専門員としてさまざまな資源の特性を知り、利用者の豊かな将来に貢献したいです。

(鹿野)



ヘルパー便り

先日、Aさんと厚木市の森の里にある若宮公園に行ってきました。今回のガイヘルのプランは、ご本人の住んでいる地域の人との関わりも意識した活動の企画です。

Aさんは電車や古い車が好きで、ガイヘルでは鉄道関連の博物館や車の展示場に行くことがあります。若宮公園内には北海道を走っていた蒸気機関車D51が展示してありました。

自宅近くの停留所からバスに乗って公園に向かいました。公園内の貯水池や遊歩道を歩き、機関車の展示場に到着するとAさんは『機関車』と一言。その後すぐに出た言葉は『バーミヤン』でした。

内心、もう少し長く機関車を見てくれるかなあと期待していましたが、それはこちらの勝手な思い。博物館や展示場に出かけた時もAさんは同じような様子でした。昼食は、若宮公園から歩いて15分のバーミヤン。ラーメン、チャーハン、餃子を食べました。帰りは本屋に寄って車の本を探していました。本屋のレジでは、店員さんがお釣りとレシートをまだ手に持っているのを、差し出される前にもらおうと手を伸ばしたりしました。

今回のガイヘルの企画で、公園やお店など地域の人がAさんの存在に気付き、関心を持つこと。そんな機会になったら良いと考えていました。しかし、Aさんは特に挨拶することもなく笑顔で話しかけることもなく、自分のその日の予定をわき目も振らずこなしているように見えました。でも、それがいつものAさんです。私たちは、仕事をしたり交友関係を深めて人との関係を広げていきますが、なかなか自閉症の人は、そういった方向に行きつきません。地域の人と関わってほしいという気持ちがありましたが、それは押し付けなのかもしれないと考えさせられました。Aさんは、自宅のマンションに戻ると足早に自宅に向かいました。途中、近所の方に声をかけられていました。こんな人たちがAさんの回りに増えていったらいいなと考えながら私も帰路に着きました。

(畑山)

ナウシカ便り

～昨年もお協力ありがとうございました～

昨年もナウシカは、地域の皆様のご支援で健康で楽しみのある暮らしになりました。散歩や買い物、ゴミ出しの際には、笑顔でお声かけいただき、設置しているプランターの花や野菜、お配りしているイベントのお知らせについても話題にいただいています。ナウシカが地域での一員として認知していただけていることを感じ、とても嬉しく思います。

社会福祉協議会主催の上溝福祉まつりでは、ナウシカのブースにたくさんの方がご来場くださいました。今までにない販売実績でしたが、何よりも本体施設、やまびこ工房と共に皆さんに場所や活動内容を説明すると「知ってますよ」「自閉症の方の施設ですよ」との声をいただきました。私たちはあまり目立った活動は行っておりませんが、日常的な地域との関わりから皆さんに知っていただくことができていることが分かり、更に励みになりました。

こういったたくさんの方の支援にお応えするためにも今年、ナウシカでは地域貢献をテーマに活動を行って参りたいと考えております。そのためにも私たちスタッフが地域にアンテナを張りながら、自閉症という個性をもった方々の活躍の場を探りながら暮らしを支えてまいりたいと思います。

本年も変わらぬご支援をよろしく願いいたします。皆様にとって、幸せな1年になりますよう、お祈り申し上げます。

(野田)



後援会のページ



明けましておめでとうございます。昨年は社会福祉法人「風の谷」をご後援いただき有難うございました。本年もまた一層のご支援をお願い申し上げます。

本年、風の谷やまびこ工房は開設20周年を迎えます。法人も記念行事や記念誌の発行を企画している様ですが、決して平坦では無かったこれまでの道のりを振り返ることは、施設立ち上げのために関係行政との折衝や資金集め、土地の購入交渉などに携われた方々の並々ならぬご苦労に心を寄せる良い機会となるでしょう。またご協力ご支援いただいた行政や地主さん、地域の自治会の皆さん等関係者の方々への感謝も忘れてはならないと思います。一部の方は既に鬼籍に入られた方もおられ、今日の風の谷の充実振りを見ていただけないことは誠に残念です。

私達後援会は家族会と手を取り合って、また職員の方々と連携して風の谷の各施設が障害を持つ利用者にとって楽しく快適に過ごせる場所であり、保護者にとっては毎日安心して送り出すことができる場所であり続けられる様、微力ながら支援して参る所存です。

風の谷後援会会長 堀田脩司

平成29年9月1日～平成29年11月30日現在（五十音順敬称略）

【更新個人】

内田まゆみ（相模原市） 藤野喜友（厚木市） 有路富夫 鶴田佳子（海老名市） 清水洋子（横浜市）
上城敏明（町田市） 源新和子（盛岡市） 上城和子（北九州市） 村上信治（熊本市）

【ご寄付・ご協力】

新宿自治会 新宿小学校 （有）伸和トラスト ワーカーズキュービック相模原
藤野孝夫 匿名希望1名

その他たくさんの方にご協力いただきました。ありがとうございました。

～お詫びと訂正～

2017年10月20日発行の秋号にて誤りがありました。

読者の皆様ならびに関係者様にご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

（誤）【新規個人】 → （正）【更新個人】

（誤）佐藤しず子 → （正）佐藤しづ子



風の谷後援会のご案内

風の谷後援会は、自閉症者の自立と社会参加を目指す『社会福祉法人 風の谷』を支援することを目的にしております。主旨に御賛同頂き、皆様の温かい御支援を頂きますようお願い申し上げます。

一般会員 一口：3,000円／年間 団体会員 一口：10,000円

※一口以上、何口でも承ります。現金を添えてのお申し込みも承ります。

<お問い合わせ先>

『風の谷後援会』事務局

〒252-0244 相模原市中央区田名 7236-3 社会福祉法人「風の谷」内

TEL：042-760-1033 FAX：042-760-7115

郵便振込先 口座番号 00230-1-15345

他の金融機関からの振込先 ゆうちょ銀行 9900 店番 029 当座 0015345